

出雲市消防団組織再編基本計画について

1 再編に至った経緯

令和3年8月から、消防団員の確保や諸課題解決に向け、第三者を含めた出雲市消防団改革推進委員会「以下、改革推進委員会」によって協議され、令和5年2月に答申が示されました。

その答申では、消防団の定員数確保がすでに困難になりつつあること。また、地域の実情及び将来の人口推計から、現在の定員数を維持することが困難であり、定員数の見直しが必要であること。しかし、定員数の見直しによって災害対応力が低下しないよう、対応力を維持または強化する形での編成が必要とも示されたところです。

【組織再編の具体的理由】

- ・団員のサラリーマン化や居住地以外に就労する団員の増加などにより、火災への即時対応が困難になりつつあります。
- ・常備消防の強化により、火災時の消防団の役割は初期消火対応から常備消防の活動支援へと変化しています。また、消防団の積載車、小型ポンプ及びその他の装備においても強化が図られています。
- ・火災時における団員の出場実績は、近年600人から700人。1年に1回火災出場する団員は、全団員の約40%。(令和4年は、火災出場257人、全団員の16%)
- ・これまでの組織再編でも、基本計画の中で一定の基準を設けて再編を進めましたが、地域の特性によって増やすことを「可」とした結果、基準数を大きく上回る定員数となっています。

【災害対応力の維持強化の方法】

火災の状況によっては、地元分団だけでなく、隣接分団など複数分団で対応する応援体制を構築し、災害に対応できる団員を確保します。また、普段からの合同訓練により、連携を強化します。

2 答申における組織再編の基本方針

- (1) 出雲市消防団を、次の団員をもって構成する。
 - ア 火災をはじめ全ての災害に出場し、また、全ての団活動に従事する団員（以下「基本団員」という。）
 - イ 地震・風水害等の大規模災害に出場し活動する団員
 - ウ その他の機能別団員
- (2) 基本団員の定員数は、一定の基準を設け見直しを行います。
- (3) 基本団員とは別に大規模災害時に活動する団員を確保します。

3 答申に伴う消防団内部での検討

改革推進委員会の答申により、出雲市消防団改革推進作業部会を立ち上げ、組織再編に係る一定の基準（案）を以下のとおり策定し、消防団本部会議の承認を得ました。

(1) 基本団員

ア 分団の部数

1分団2部とする。

イ 部員数

1部あたり10人とする。

分団には、分団長、副分団長、伝令班長が一人ずつなので、部員数と合わせると1分団の基本団員の人数は23人となります。

【理由】

① 1分団2部とした分団の部数は、平成23年に策定された「再編の基準」を踏襲。

② 1部あたり10人とした部員数は、火災への対応力を確保できる人数。

※筒先1本に5人 × 2

（内訳）隊長1人、機関員1人、筒先員3人（伝令又は機関員補助含）

(2) 大規模災害対応団員（地震・風水害等の大規模災害に出場し活動する団員）

編成する分団及び団員数

各分団に1団（5人）の団員を編成する。

ただし、全分団に編成を強制するものではありません。

【理由】

大規模災害時に基本団員と共に分団長指揮下において活動する団員として、災害活動に最低限必要な人数であり、統率のとれた活動を可能とする人数です。

(3) 地域特性による組織構成について

（区域面積大、中山間・沿岸部、密集地、斐伊川神戸川水系、観光地など）

ア 基本団員に対して

地域特性は加味しません。

イ 大規模災害対応団員に対して

原則、地域特性は加味しません。

ただし、地域の実情等により増団の意向を示す分団があれば、個別に設置を検討（消防団本部会議で決定）します。

【理由】

① 平成23年に定員数の見直しが行なわれ、地区コミュニティセンター単位で各分団2部、1部あたりの団員数12人を基準としながら、地域の特性によって基準より増やすことを「可」とした結果、定員数は基準を大きく上回っています。このことが充足率の低下を招き、結果として退団したくても退団できない団員や、地域推薦による場合は、消防団のなりてがない自治会や町内会に大きな負担として押し掛かっている現状です。

- ② この度の再編では、一応の災害対応力は確保できる分団構成としつつ、災害の種別や規模に応じて隣接する分団や方面隊へも出場を要請することにより、地域相互の応援体制を確立することで、全体のスリム化を図ります。※地区コミュニティセンター単位となっていない分団も、基本は現状の分団数を基準とした2部体制とします。

4 再編に向けた基本計画の目標スケジュール

- (1) 令和5年度は再編の準備期間とします。
- (2) 令和6年度から再編をスタートし、令和10年度末を目標に再編を行います。
- (3) 再編がスムーズに進む分団や早急に再編が必要な分団は先行して再編を進めますが、あくまでも目標であり、早く進む分団もあれば遅れる分団もあります。

基本計画による再編後の出雲市消防団組織体制

【再編前】

(定員数1,841人)

(実員数1,642人)

【再編後】

(定員数1,406人)

団本部 15方面隊 62 (実員数45)		48分団	130部	定員数 1779	実員数 1597	96部	基本団員 1104	大規模災害 対応団員 240	
消防団長 伝令部長 女性部長 女性部	副団長	出雲中部方面隊 伝令部長	今市分団	2部	27	24	2部	23	5
			大津分団	2部	29	21	2部	23	5
	副団長	出雲北部方面隊 伝令部長	塩冶分団	3部	36	36	2部	23	5
	副団長		古志分団	2部	29	20	2部	23	5
	副団長	出雲南部方面隊 伝令部長	四絡分団	2部	27	24	2部	23	5
	副団長		高浜分団	2部	27	25	2部	23	5
	副団長		川跡分団	2部	32	28	2部	23	5
	副団長	出雲西部方面隊 伝令部長	鷺巣分団	2部	29	25	2部	23	5
	副団長		上津分団	3部	39	32	2部	23	5
	副団長		稗原分団	3部	39	37	2部	23	5
		平田第1方面隊 伝令部長	朝山分団	3部	39	32	2部	23	5
			乙立分団	2部	25	24	2部	23	5
			高松分団	2部	33	32	2部	23	5
		平田第2方面隊 伝令部長	神門分団	2部	32	29	2部	23	5
			神西分団	2部	32	30	2部	23	5
			長浜分団	3部	39	38	2部	23	5
		平田第3方面隊 伝令部長	平田分団	2部	27	26	2部	23	5
			久多美分団	3部	39	39	2部	23	5
			佐香分団	3部	33	27	2部	23	5
		平田第4方面隊 伝令部長	灘分分団	3部	45	42	2部	23	5
			国富分団	3部	41	40	2部	23	5
		佐田方面隊 伝令部長	西田分団	3部	33	28	2部	23	5
			鱈淵分団	3部	33	29	2部	23	5
			北浜分団	4部	51	36	2部	23	5
		多伎方面隊 伝令部長	檜山分団	3部	33	33	2部	23	5
			東分団	3部	48	43	2部	23	5
			伊野分団	3部	39	36	2部	23	5
		湖陵方面隊 伝令部長	西須佐分団	3部	48	41	2部	23	5
			東須佐分団	3部	39	37	2部	23	5
			八幡東分団	3部	39	39	2部	23	5
			窪田分団	3部	39	32	2部	23	5
		大社神海方面隊 伝令部長	久村分団	2部	27	21	2部	23	5
			小田多岐分団	3部	39	26	2部	23	5
			田儀分団	3部	48	35	2部	23	5
		大社浜山方面隊 伝令部長	湖陵西分団	3部	48	48	2部	23	5
			湖陵南分団	3部	48	47	2部	23	5
			杵築分団	4部	51	47	2部	23	5
		斐川東部方面隊 伝令部長	日御碕分団	3部	39	35	2部	23	5
			鵜鷺分団	2部	33	31	2部	23	5
			荒木分団	3部	48	46	2部	23	5
		斐川西部方面隊 伝令部長	遙堪分団	3部	48	45	2部	23	5
			莊原北分団	2部	27	21	2部	23	5
			莊原南分団	2部	27	27	2部	23	5
		斐川西部方面隊 伝令部長	出東分団	4部	51	46	2部	23	5
			出西阿宮分団	4部	51	50	2部	23	5
			伊波野分団	3部	39	39	2部	23	5
		斐川西部方面隊 伝令部長	直江分団	2部	27	24	2部	23	5
			久木分団	2部	27	24	2部	23	5

令和6年度 分団体制一覧表

No.	分団名	令和5年度						令和6年度							
		部数	各部定員数(人)				定員(人)	実員(人)	部数	各部定員数(人)				大規模	定員(人)
			1部	2部	3部	4部				1部	2部	3部	4部		
1	今市分団	2	12	12			27	24	2	12	12				27
2	大津分団	2	13	13			29	20	2	10	10				23
3	塩冶分団	3	11	11	11		36	36	3	11	11	10			35
4	古志分団	2	13	13			29	20	2	13	13				29
5	☆四絡分団	2	12	12			27	24	2	10	10			5	28
6	☆高浜分団	2	12	12			27	25	2	10	10			5	28
7	☆川跡分団	2	15	14			32	28	2	10	10			5	28
8	☆鳶巣分団	2	16	10			29	25	2	10	10			5	28
9	上津分団	3	14	12	10		39	32	3	14	12	10			39
10	稗原分団	3	12	12	12		39	37	3	12	12	12			39
11	朝山分団	3	13	15	8		39	32	3	13	15	8			39
12	☆乙立分団	2	12	10			25	24	2	10	10			5	28
13	☆高松分団	2	15	15			33	32	2	10	10			5	28
14	神門分団	2	18	11			32	29	2	18	11				32
15	神西分団	2	14	15			32	30	2	13	11			5	32
16	長浜分団	3	11	12	13		39	38	3	10	10	11			34
17	平田分団	2	12	12			27	25	2	12	12				27
18	久多美分団	3	12	12	12		39	39	3	12	12	12			39
19	佐香分団	3	10	10	10		33	27	3	10	10	10			33
20	灘分分団	3	14	14	14		45	42	3	11	12	12			38
21	国富分団	3	12	13	13		41	40	3	12	13	13			41
22	西田分団	3	10	10	10		33	28	3	10	10	10		5	38
23	鰐淵分団	3	10	10	10		33	29	3	10	10	10			33
24	北浜分団	4	12	12	12	12	51	36	4	12	12	12	12		51
25	檜山分団	3	10	10	10		33	33	2	12	12				27
26	東分団	3	15	15	15		48	43	3	15	15	15			48
27	伊野分団	3	12	12	12		39	36	3	12	12	12			39
28	西須佐分団	3	15	15	15		48	40	3	15	15	15			48
29	東須佐分団	3	12	12	12		39	37	3	11	11	10			35
30	八幡東分団	3	12	12	12		39	39	3	12	12	12			39
31	窪田分団	3	12	12	12		39	32	3	12	12	12			39
32	久村分団	2	12	12			27	21	2	12	12				27
33	小田多岐分団	3	12	12	12		39	26	3	12	12	12			39
34	田儀分団	3	15	15	15		48	35	2	12	12			5	32
35	湖陵西分団	3	15	15	15		48	48	3	15	15	15			48
36	湖陵南分団	3	15	15	15		48	47	3	15	15	15			48
37	杵築分団	4	12	12	12	12	51	47	4	12	12	12	12		51
38	日御碕分団	3	12	12	12		39	35	3	12	12	12			39
39	☆鵜鷺分団	2	15	15			33	31	2	10	10			5	28
40	荒木分団	3	15	15	15		48	46	3	15	15	15			48
41	遙堪分団	3	15	15	15		48	45	3	15	15	15			48
42	莊原北分団	2	12	12			27	21	2	10	10				23
43	莊原南分団	2	12	12			27	27	2	12	12				27
44	出東分団	4	12	12	12	12	51	42	4	12	12	12	12		51
45	出西阿宮分団	4	12	12	12	12	51	50	4	11	11	11	11		47
46	伊波野分団	3	12	12	12		39	39	3	10	10	10			33
47	直江分団	2	12	12			27	24	2	10	10				23
48	久木分団	2	12	12			27	24	2	12	12				27
	計	130	615	602	370	48	1779	1590	128	571	564	335	47	50	1711

(団本部定員 62人)
合計定員数1773人

○☆印は基本計画のとおり編成された分団

○部数の変更: 130→128(檜山、田儀)

○定員数変更: 1, 841→1, 773(-68人)

(大津、塩冶、四絡、高浜、川跡、鳶巣、乙立、高松、神西、長浜、灘分、西田、檜山、東須佐、田儀、鵜鷺、莊原北、出西阿宮、伊波野、直江)

○大規模災害対応団員: 10団(四絡、高浜、川跡、鳶巣、乙立、高松、神西、西田、田儀、鵜鷺)